

現場で取り組んだ業務・成果を発表

四国森林・林業研究発表会

一月二十四日（火）、局大会議室において、「平成二八年度四国森林・林業研究発表会」を開催しました。（写真）

今回で六四回目を迎えた発表会には、局署等一〇課題を含め、自治体や教育機関、試験研究機関等から計二〇課題について、それぞれの現場等で取り組まれた日頃の研究成果等が発表されました。

各発表内容の充実はもとより、プレゼンテーションに、動画や音響を使用した課題が増え、聴く側の方々への配慮が見受けられました。

今回も、プレゼンシート（発表者と聴講者がつながり、振り返るもの）を備え、聴講者に記入して頂き、全ての課題に二四枚のシートが寄せられました。（内容等の詳細は、グリーン四国（二月号）に掲載を予定しています。）

審査の結果、受賞課題等は裏面のとおり

です。次回（平成二九）の研究発表に向けて、日頃の業務等を踏まえ関係機関とも連携するなど、一層の取組をお願いします。

発表者、聴講者の皆様、おつかれ様でした。



研究発表会場のロビーに

○ ロビー展示の概要

- ・平成28年度「四国山の日賞」受賞団体パネル局と高知大学との連携協定の成果として
- ・「森林整備事業における（複数年契約）の取組について」（局資源活用課）
- ・「魚梁瀬森林鉄道と暮らし」（高知大学）

聴講者の皆さまとの交流の場にもなりました。

また、二月二十六日（日）からは、「ひなまつり」と題して、森林環境教育ボランティアの皆さまが制作した「ひな人形」を展示します。期間中、出張等で局へ来られませんでしたら、ふれあい館へも。お立ち寄りください。



是非 ふれあい館へも
一月一六日（月）から三月二六日（日）まで、局森林ふれあい館（一階）で、「すみれ・たんぼ展」（高知県立牧野植物園）



ヤドリギって



ヤドリギの仲間は世界中に分布していて、日本では3属7種、北海道では2種（ヤドリギ、アカミヤドリギ）が広葉樹に寄生します。

ヤドリギは常緑性小低木であり、日光を十分に取り込めて、澄んだ空気が流れる高い所が好きようです。ヤドリギは、他の樹木の枝や幹に取り付いて寄生生活を送ります。葉緑素を有していて、自分で栄養を作りながら、宿主の樹皮の内側まで根を進入させて養分を吸収し、体をしっかり固着させます。

葉は肉質の対生、枝は又状（さじょう）分岐でほうき状に伸びて、春に小花を咲かせ、雌株は、秋に黄色または赤色の液果をつけます。

（もっと知りたい森と木の話より）

編集後記

研究発表会が終わるとともに、梅の花芽も膨らみました。

どこかで「春よこい」の歌声が。

研究発表の受賞課題等は裏面に掲載

平成28年度四国森林・林業研究発表会における受賞課題について

- 四国森林管理局局長賞（最優秀賞1課題、優秀賞3課題、奨励賞3課題）
- 日本森林技術協会理事長賞（1課題）
- 日本森林林業振興会会長賞（1課題）

（優秀賞、奨励賞は発表順）

受賞名	発表課題	発表者	
		所属	氏名
最優秀賞	低コストで効果的な獣害防止対策（斜め張り・L型ネット）及びドローンを使用したシカネット巡視の取組について	安芸森林管理署 森林整備官 業務グループ係員	吉本 和正 岡上 優斗
優秀賞	改良型傾斜付横断溝の開発及び実地試験結果について	四国森林管理局 森林整備課 路網整備係 森林整備課 路網計画係	小杉 陵太 東別府省伍
優秀賞	ニホンジカ被害防護対策の労力、経費節減の試み	高知中部森林管理署 主任森林整備官 地域技術官	豊永 恵文 萩野 伸二
優秀賞	森林作業道の再利用と列状間伐のコスト縮減に向けた考察	香川森林管理事務所 係員 総括森林整備官 首席森林官	藤永 裕文 岡部 光明 馬門 辰美
奨励賞	平成28年4月開講 “とくしま林業アカデミー” の現状について	公益社団法人 徳島森林づくり推進機構 主任講師 事務員 第1期生生徒	加藤 正典 奥田 佑美 森 準
奨励賞	演習林で演習しよう	高知県立四万十高等学校 自然環境コース2年生 自然環境コース2年生	吉良 和恭 中越 拓也
奨励賞	スペシャリストコース 課題研究への取組	高知県立高知工業高等学校 建築科3年生	植田 真由 梅原 嘉人 奥田 大雅 千崎健太郎 永吉光太郎 細木 俊介 前田 康輔 松浦 海里 和田 梓
日本森林技術協会理事長賞	竹を利用したシカ害対策について（経過報告）	四国森林管理局 森林技術・支援センター副所長	池上 永一
日本森林林業振興会会長賞	地域の課題解決に向けた民有林との連携	徳島森林管理署 森林整備官 係員	堀切 政俊 谷脇はるか